

スウェーデンにおける重度知的障害児・者の対人援助の実際

ワークセンター豊新・主任 松村 成子

表現について、一部現在では使用しないもの又は言い換えられているものがありますが、歴史的見地から当時のまま掲載しています。ご了承下さい。

・研修の目的

この研修の目的は、福祉先進国といわれるスウェーデンにおいて、重度の知的障害者や行動障害のある人が、地域で安心して生活するためにどのような支援サービスを受けているかの実際を知りたいと考えたことだった。自傷、他害の激しい行動障害を示す人と向き合っていると、「どの人にも意思や感情があり、特別な人ではない」ということを強く感じていた。どんなに障害が重くても、人としてその人の主体性が尊重されなければ、いくら物質的環境を整えたところで障害者が安心して地域で生活できるとは言えない。

私どもの法人施設「風の子そだち園」(知的障害者通所更生施設)の後援会会長をしていた岡村重夫氏は、「福祉的援助の原理」として、「社会性の原理」、「全体性の原理」、「主体性の原理」、「現実性の原理」の4つを挙げている。それは主体的側面からその人の困難がどこからきているのか、具体的な援助を通して、その人の生活全体を視野に入れて社会関係を見ていく支援こそが福祉だと述べられている。私は福祉現場で激しい行動障害を示す人と正面から日々向き合うなかで、障害者本人だけでなく、親や兄弟姉妹などの家族関係、近隣など周囲の人との関係からくる様々な困難も視野に入れながら援助を行うようにしている。その際には施設直印以外の関係者との連携や関係調整も欠かせないものになってくる。これらの援助は、重い障害があっても障害者本人が地域で安心して生活できるようになっていくための、対人援助の基本であると理解して支援してきた。そのため、岡村氏の理論は強く肯定できるものであった。しかし、障害者福祉の現場において、このような視点は残念ながらまだ一般化されていないのが現状である。

一方、スウェーデンの心理学者で、FUB 附属研究所アアラ (ALA : Anpassning till Liv och Arbete 生活と労働への適応) の所長でもあった、グナル・シーレーン (Gunnar Kylan) は知的障害をもつ人を「人間を理解するためには、人(その心理面と身体面)、環境(社会的環境と物的環境)、人と環境との相互作用 (Samspel) の三要素を統合して、つまり全体的視点 (Helhetssyn) から捉えなくてはならない」と述べている。この人間理解の視点は私たちの法人の考え方と共通するものと思われる。Gunnar Kylan の考え方が福祉現場でどのように実践され、本人主体の援助に生かされているのかを知りたいと思い、スウェーデンを訪問することにした。また、特に行動障害を示す人の理解と支援のあり方について、専門機関との意見交換を交え、研修後もお互いに交流できる基盤を作りたいと考えた。

今回の研修のコーディネートを研究所アアラの現所長であるシャシュティーン・ヨーランソン (Kerstin Goransson) さんに依頼したところ、重度の知的障害や行動障害のある人のことならと、ヴ

エクショー（Vaxjo）のハビリテーションセンターの心理学者、グネル・ヴィンルンド（Gunnel Winlund）さんを紹介して下さった。また、1997年に来日された元 FUB 会長 で重度障害児・者の活動所、エルドラード（Eldorado）の所長をしておられるエライネ・ヨハンソン（Elaine Johansson）さんには、イエテボリ（Goteborg）で1人の重度の知的障害のある人に何日か同行させていただくことをお願いした。そして重度の障害のある人が学齢期にどのような環境でどんな教育、福祉的援助を受けているかを知りたいという問題意識から、元養護学校の校長でリンショーピン（Linkoping）の各養護学校で指導的役割を担っているスヴェン・インゲ・エングスハンマール（Sven-Inge Angshammar）さんに依頼して養護学校やショートステイホームを訪問させていただくことになった。

（続く、全 27 頁）

以下目次

・ 知的障害児・者とスタッフのスーパーバイザー的役割をもつ専門機関

（1）エルドラード

（2）成人のハビリテーションセンター

（3）テクニカルエイド・センター

・ 生活を支えるデイセンターとパーソナルアシスタント

（1）デイセンターについて

（2）パーソナルアシスタント

（3）個別支援計画の現状の課題

・ 障害者の生活の場としてのグループホーム

・ 知的障害児の養護学校とショートステイ

（1）リンショーピンの養護学校

（2）学童期の子どもたちが利用しているショートステイ

・ 重度知的障害者の地域生活の実際...「ピアさん」の生活

・ 行動障害の人たちへの対応と支援(まとめ)

・ おわりに